

余野川ダム建設についての意見

箕面市民私は余野川ダム建設に次の理由により反対します。

1.「水と緑の健康都市」をも視野に入れた地元の箕面市でさえ料金が高くなる等の理由で、余野川ダムの水は使わないと、いち早く決定しています。

その他の阪神間の各地でも、客観的にはむしろ水余りの状態が続いており、将来においても、余野川ダムから水の供給を受ける必要性は想定出来ません。したがって、利水の必要から余野川ダムを建設するというのは根拠がありません。

2. 治水面から考えてみると、計画では荒唐無稽なほど高値の「基本高水」が設定されています。これでは計画の説得力が乏しく、むしろ「はじめにダム建設ありき」から出発したことを疑わせます。勿論、治水面は全く手を拱いていてよいということではありません。水害を防ぐには、コンクリートのダムではなく総合的な治水対策が必要です。例えば河川の狭い区間を改修したり、流域貯留、遊水地、調整池の整備などです。

少なくとも余野川ダム計画で射程にしている地域では、これらの総合的な治水対策のみが必要にしてかつ十分な条件であると考えます。したがって治水の必要から余野川ダムを建設するというのは根拠がありません。

3. 余野川ダム予定地を一度歩いてみるとわかることですが、そこは里山であり、雑木林、珍しい小鳥のさえずり、鹿の足跡、炭焼きがまなど、かけがえのない(一度失うと取り返しのつかない)環境です。このような環境と引きかえに、私たちが次世代に手に入れるものは何か? あまりにも空しい話ではありませんか。

4. 余野川ダム本体の建設だけでも 500 億円以上かかると言われています。この費用を国が負担するにしても、府、市が負担するにしても税金の無駄使いです。まして、このデフレ、失業者増大の状況下、私たち市民にとっても、府民にとっても、日本の社会にとっても「百害あって一利なし」のダム建設の中止を一刻も早く決定すべきです。今迄使った費用は無駄になりますが、傷口が広がらないうちに決断実行すべきです。長野では数百億円費やしたダム建設を中止したではありませんか。

過ちを改めるにためらうことなかれ!